

平成 29 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：低温レーザー干渉計 CLIO による重力波研究
英文：Study of Gravitational-wave by cryogenic laser interferometer
CLIO in KAMIOKA Mine

研究代表者 大橋正健（東大宇宙線研）
参加研究者 東大宇宙線研 三代木伸二、内山隆、宮川治、山元一広、廣瀬榮一、
端山和大、栗井恭輔、戸村友宣、上泉眞裕
東大地震研 新谷昌人
国立天文台 麻生洋一
産総研 寺田聡一
大阪市大 田越秀行
長岡技術科学大 高橋弘毅

研究成果概要

CLIO 本体は、水没事故以来、復旧作業を続けているが、未だ稼働できる状況ではない。その理由としては、現在は KAGRA 建設に重力波研究者のマンパワーを全てつぎ込んでおり、早急に CLIO を復旧させる見通しがついていないからである。ただし、併設している地球物理観測装置は順調に観測データを取りつづけており、研究設備全体としては一定の研究成果を出している。研究環境が復旧できれば、次世代重力波観測装置の開発研究に使うことも検討しており、この設備を今後も維持していくつもりである。

整理番号 F15